



小さなお子さんをもつ親御さんであれば、きっと子供に絵本の読み聞かせをした経験があるのではないかと思います。

絵本の読み聞かせは、子供たちが喜び、物語の世界でいろいろな想像を巡らすだけでなく、親子の絆を深めるものです。そして、時に大人の方が、人生において大切なことにハッと気付かされることもあります。

今回は「お子さんと一緒に見てほしい」おすすめの絵本を紹介いたします。なお、この絵本は、現在YouTubeの動画としてどなたでも自由に見ることができますので、お子さんと一緒にご覧いただき、感想を語り合ってほしいと願っています。

絵本・ゆらちゃんのおはかまいり

東日本大震災の発生した2011年に、とある絵本が発刊されました。「ゆらちゃんのおはかまいり」という絵本です。

ごく普通の家庭にある、ごく普通のお墓参りの風景を絵本にしたものです。本当の「家族の幸せ」は、普段のなにげない感謝の気持ちの中から生まれてくるもの。そのことを、お墓参りを通じて伝えたいという想いから創られた絵本です。



お墓参りは、“日本の家族行事”です。家族みんなで役割を分担してお墓をお掃除し、お花やお水、お線香、供物を供え、そして手を合わせるこ

とは、まさに“家族の共同作業”と呼ぶにふさわしいと思います。手を合わせながら、家族はそれぞれの想いをご先祖さまに伝えます。その姿を見て、ご先祖さまは、子孫のしあわせを喜び、その願いをかなえてくれます。お墓参りとは、ご先祖さまと子孫が“しあわせの交換”をすることなのです。子孫がご先祖さまに“感謝の気持ち”を伝え、ご先祖さまが“子孫のしあわせ”を守る…“お墓は、しあわせのシンボル”なのです。

(作者・ゆらちゃんのパパの想い)

お子さんと一緒に見てほしい動画 「絵本・ゆらちゃんのおはかまいり」

駒沢大学名誉教授で宗教人類学者の佐々木宏幹氏は、「ゆらちゃんのおはかまいり」に対し次のようなコメントを寄せています。

【お墓は家族の分身】

このたびの大震災でも生き残った人たちは、しきりにお墓のことを心配していた。日本人にとって、お墓は家族の分身であり、自分なるものの根拠(ルーツ)である。

『ゆらちゃんのおはかまいり』のように、家族皆でお墓参りをすれば、それぞれの心が浄化され、お互いの絆が強まる。無縁社会を有縁社会に化すためにも、この本をぜひ全国の子供たちに読ませたい。

「ゆらちゃんのおはかまいり」で描かれているのは、「**家族の絆**」そして「**ご先祖さまとの絆**」を深める姿。

「今の自分があるのは、**多くの人がつないできてくれた「命のリレー」があつてのもの**」、こう書くと難しそうに聞こえますが、きっと子供たちには、お墓参りをすることで子供ながらの直感や肌感覚で体得できる「絆」がきっとあるのではないかと思います。

「悪いことをすると、ばちがあたるよ」「ご先祖さんのおかげ」といったようにお墓の前で子供たちに語ってみてはいかがでしょうか。

ぜひこの「ゆらちゃんのおはかまいり」を通して、**子供たちにお墓参りの価値を伝えていただき、そして保護者の方自身にも、お墓参りの価値を再発見していただきたい**と願っています。

冒頭でもお伝えした通り、「ゆらちゃんのおはかまいり」は現在、**YouTubeの動画としてどなたでも自由に見ることができます**ので、読み聞かせをするような感覚でお子さんと揃って見ていただき、ぜひ感想を語り合ってみてください。

「ゆらちゃんのおはかまいり」絵本動画



 **YouTubeで無料動画も公開中**

▶ QRコードを読み込んでご覧下さい。

ゆらちゃんのおはかまいり動画

検索



「動画もいいけれど、せっかくなら読み聞かせをしてあげたい」
「小さな子供が好きな時に手に取って読めるようにしてあげたい」
そんな方には、



絵本を小冊子化した「ゆらちゃんのおはかまいり」をご用意しております。

ぜひお気軽にお申し付けください。